

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 陽心会	代表者	高良 建	法人・事業所の特徴	「24時間365日、小規模だから出来る事がある」住み慣れた地域で、必要な医療と介護のサービスを提供し、本人、家族が共に安心して生活が継続されるよう個々の事情を配慮したサービスの提供を行っている。
事業所名	小規模多機能型ホーム大道	管理者	仲本 親一		



出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	合計
	1人	1人	1人	人	人	人	人	12人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所の自己評価の確認	介護職員、ケアマネ、看護師、管理者が利用者の日中から夜間の状況、また基本情報を把握し皆で情報共有の強化を行う。	申し送りや定例会議を活用し、リーダーから夜勤者 送迎ドライバーから職員全体へ情報を周知できている。	細かい意見も拾って活用できている。 職員のスキルアップに対する機会を多く提供してはどうか。	これからも情報共有は徹底し職員全員が取りこぼしが無いよう強化し利用者への支援に活用していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	コロナ禍が収束した時には地域の方々に気軽にお願いいただくよう利用者の作品などを展示し入りやすい雰囲気を作っていく。	コロナ禍により地域の方々においていただく機会は無かったがイベントや四季の飾りつけなど行い利用者には喜んでいただいている。	季節に合った飾りつけや利用者の作品などととも良い。感染対策は大変ですが利用者の安全が何より優先です 感染対策お疲れ様です。	地域の皆様にはいつでもお越しいただけるよう事業所内は明るく活気のある雰囲気を保てるよう努力していく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域交流室の活用を促進するためコロナ禍収束にむけ今までのサークルの方々との関係を大切に新規利用者にも使っていただけるよう情報発信していく。	コロナ禍により地域交流室の活用は制限されサークルの方々にご利用いただくことは今年も無かったがコロナ感染状況など鑑みて再度活用していただくよう努力する。	草むしりや掃除など行い近所の皆さんと挨拶や会話をいたしました近隣へコロナ対策のチラシなど配布し地域交流できている	地域の皆様との交流は今まで以上に親密になれるよう声掛けや挨拶 イベント参加など御一緒できるような努める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	コロナ禍により制限や自粛等不自由があったがその時に応じ適切な判断で支援できるよう努力する。	買い物支援や訪問支援にて地域に向くことが出来た。 天気の良い日はドライブなど楽しんで頂きました。	防火訓練やイベントなど行っているが ご家族や地域への情報発信に努力が必要。	地域の皆様には事業所の存在を知っていただけるようチラシなどの情報発信など行い利用者やイベントなどで交流できるよう努める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	現在まで利用者家族や介護職員など積極的に参加できないことが多かったが参加を募りご家族をお誘いしたりと全体の連携を深めていく。	コロナ感染状況を常に意識し外部との接触を制限し行ったため運営推進会議は職員のみで行うこととなった。	ZOOMなどリモート会議を取り入れた方がいいと思います。 構成員からの意見も反映できるよう努力してほしい。	コロナ禍であっても皆様の意見を募り支援に役立てるように職員だけではなく構成員の意見も取り入れ事業に活用していく。
F. 事業所の防災・災害対策	防災訓練開催時には前もって地域の皆さんやご家族さんなど参加いただき防災に対し意識を高めていくよう努力する。	コロナ感染防止対策の為地域の皆さんには参加いただくことはできなかったが年に2回の消防訓練を行い安全に過ごせるよう防災に心がけている。	日々の防災訓練の手順を確認し事業所全体で引き続き取り組んでいきたい。	防災訓練をしっかりと行い事業継続計画書を職員全体で周知し有事に備える。